

和歌山だよい

平成23年 3月号



紀三井寺（和歌山市）

CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1
2. 和歌山県政トピックス…P2～P6
3. お知らせ…………… P7～P9
4. ふるさと歳時記…………… P10



山 椒

「政治主導」

昨年末、NHKの「坂の上の雲」を見ました。ロシアとの対決に際して、当時の政府元勲、首脳らが、ただ単に戦争に突っ走るのではなく、敵国の正確な把握、軍備の充実、外交努力、第3国への働きかけ、ロシア国内における後方かくらん攪乱など、いかに複眼的な幅広い戦略をもって、国を経営していたかがよく分かります。例えば、時の政府は、対露開戦を前に戦費調達のため高橋是清を欧州に、後方攪乱のため明石元二郎をロシアへ、そして第3国の世論操作と将来の和平調停を見越して金子堅太郎をアメリカに派遣しています。

後の昭和の軍部の秀才幹部達が日中戦争など過去の自己の行為の正当化のために、大局観もなく、組織の論理だけで日米開戦へ日本を追い込んでいったことといかに違っていることでしょう。

軍隊に限らず、官僚はもちろん企業の組織も、ともすれば、このような組織の論理で全体を誤らせることがあり得ます。そこに、より上に立つトップの政治主導の必要性があるのです。

しかし、官僚でなく選挙で選ばれる政治家がリードしていたら、すべて誤りがなく、うまく行くのでしょうか。政治主導が成功するためには、政治家に真の大局観、見識があり、かつ、政治家が自己の政治的勝利や栄達でなく、祖国や郷土に対する献身を常に心していることが必要です。

昨今、あまりにもそうでない事例を見るにつけ、少なくとも和歌山県政だけは、知事も県職員も常にこのことを自戒しつつ、県の進むべき道を誤らぬようにしなければならないと思う次第です。



2月定例県議会での
仁坂知事。

今月の和歌山県政トピックス

＊ 最近の県政の動きや県内の話題などをピックアップしてお届けします。

●平成23年度当初予算・新政策を発表！！

・依然として厳しい経済雇用情勢が続く中、「元気な和歌山」を実現するためには、県民誰もが、現在の生活を不安なく送れるようにするとともに、将来に対して希望を持てるようにしなければなりません。このため、平成23年度は、県民の皆さんに『希望』と『安心』をもたらす新政策を、県庁の総力を挙げて推進します。

平成23年度新政策の基本的な考え方

未来を拓く『希望』の政策

- 県内産業の活力強化
 - 和歌山産業の競争力強化
 - 農林水産業の活性化
- 新たな成長産業づくり
 - 和歌山観光新時代の幕開け
 - 環境・新エネルギー
- 成長を支える基盤づくり
 - 道路ネットワークづくり
 - 地域の活力づくり
- 心豊かで元気な人づくり

命とくらしの^{いま}現在を守る『安心』の政策

- 子どもが健やかに成長できる環境づくり
- 高齢者・障害者等が
安心して暮らせる社会づくり
- 県民の健康を守る安心医療の充実
- いざという時への備え
- 過疎集落の再生・活性化

平成23年度当初予算 5,427億円
〔対前年度比 1.5%増〕

※ 公共投資予算 1,055億円
〔うち直轄負担金除き 962億円(対前年度比+8億円(0.9%)増)〕

【未来を拓く「希望」の政策】

■県内産業の活力強化＜和歌山産業の競争力強化＞

㊦わかやま地場産業ブランド力強化支援

企画提案型のビジネスモデルをめざす産地企業の取組を、企画段階から販売促進まで一貫支援

・先駆的産業技術研究開発支援

先駆的産業分野で全国に打って出る技術の開発・実用化への支援について、採択枠を拡大

㊦プレミアム和歌山販売促進展開

首都圏の集客力のある店舗でのプレミアム和歌山推奨品のPR、販売等を実施

＜農林水産業の活性化＞

㊦果樹産地再生緊急対策

優良品種への改植、園内道等の園地整備など、生産対策を総合的に支援

・和歌山版果樹産地づくりステップアップ支援

担い手への農地集積を進めるとともに、農業者等の生産法人化を支援

㊦業務用野菜産地化推進

省力・低コスト化のための機械・設備の導入支援や県独自の野菜契約取引安定基金の造成

■新たな成長産業づくり＜和歌山観光新時代の幕開け＞

・世界遺産の環境保全

CSRの活動拠点として保全と誘客を促進

・外国人観光客の受入強化

南紀白浜空港への国際チャーター便就航促進

＜環境・新エネルギー＞

・電気自動車導入推進

主要拠点間の充電インフラの整備、公益的な事業者の電気自動車の導入を支援

・住宅太陽光発電設備導入促進

家庭部門の地球温暖化対策として、住宅への太陽光発電設備導入を支援

■成長を支える基盤づくり＜道路ネットワークづくり＞

・高速道路ネットワーク整備（近畿自動車道紀勢線、京奈和自動車道、直轄事業の促進）

・府県間道路の整備

⑧川筋ネットワークの整備

各生活圏の「背骨」にあたる県内主要河川沿いの道路を重点整備

＜地域の活力づくり＞

・第62回全国植樹祭の開催

「緑の神話 今そして未来へ 紀州木の国から」をテーマに、5月22日（日）に田辺市にて開催

⑧名所・景勝地魅力づくり

地域の素晴らしい自然や景観を活かし、地元と協働して魅力ある名所・景勝地づくりを支援

■心豊かで元気な人づくり

⑧国際人育成プロジェクト

広く世界で活躍できる人材育成のため、平成24年度から「実践的な英語力向上」の授業を実施

⑧文化スポーツ振興助成

文化・スポーツ等に係る国際大会から草の根レベルまで、様々な取組を一元的に支援

【命とくらしの現在を守る「安心」の政策】

■子どもが健やかに成長できる環境づくり

⑧小児細菌性髄膜炎等予防接種支援

子宮頸がん予防ワクチン、細菌性髄膜炎予防に効果のあるヒブワクチン等の接種を支援

・児童虐待への対応強化

児童相談所・市町村の体制強化及び児童擁護施設・市町村職員の専門性の向上等

■高齢者・障害者等が安心して暮らせる社会づくり

⑧医療と介護の連携強化

要介護者及び家族介護者の安心を確保するため、医療と介護のネットワークづくりを支援

⑧地域発達障害サポートプログラム

発達障害児者に対する社会生活への適応訓練等を実施し、支援プログラムを作成

■県民の健康を守る安心医療の充実

・地域の拠点となる病院の耐震化支援、くしもと町立病院の整備支援

⑧地域医療支援センター運営

地域における若手医師のキャリア形成や地域医療に従事する医師の支援を行うセンターを県立医大に設置

■いざという時への備え

⑧集中豪雨に対する機動的浸水対策

緊急排水を可能とするよう排水ポンプ車を配備し、和歌山市内の排水ポンプ施設を遠隔操作化

⑧暴力団排除活動強化

暴力団排除条例の制定を契機とした県民全体での暴力団排除活動の展開

■過疎集落の再生・活性化

・わかやま版「過疎集落支援総合対策」

過疎生活圏において、住民生活の利便性向上や集落の活性化を図る総合的な取組を支援

●東北地方太平洋沖地震発生

- ・ 3月11日、三陸沖を震源とする世界最大級の地震が発生し、東北太平洋沿岸地域では、大津波や大火災により、尊い人命と多くの家屋が奪われる未曾有の大惨事となりました。
- ・ 和歌山県には、全域に大津波警報が発令され、すみやかに沿岸市町の住民に避難指示や避難命令を出して万全の体制を整えました。県内では、水産施設等に被害が出たものの、幸い人的な被害はありませんでした。
- ・ 関西広域連合（連合長：井戸兵庫県知事）では、13日に緊急委員会を開き、阪神・淡路大震災の経験と教訓を活かして、持てる力を結集し、現地のニーズに応えた支援物資等の提供・応援要員の派遣、避難生活者等の受け入れに各府県が積極的に取り組んでいくことを決定しました。
- ・ 県では「被災地支援対策本部（本部長：仁坂知事）」を設置し、被災地からの支援要請に全力を挙げて取り組んでいます。

●紀の川市で発生した「高病原性鳥インフルエンザ」終息宣言

- ・ 2月15日、紀の川市で発生した高病原性鳥インフルエンザについては、2月20日の防疫措置完了後、21日間新たな発生が認められなかったため、3月14日午前0時をもって、全ての移動制限区域を解除しました。
- ・ 今後とも、鳥インフルエンザ発生の予防に、万全の体制を整えていきます。

●第83回選抜高校野球大会出場「智辯学園和歌山高等学校」の壮行式開催！

・ 3月8日、第83回選抜高校野球大会に出場する、智辯学園和歌山高等学校（2年連続10回目）の健闘を祈るため、県庁正面広場において壮行式を開催しました。

・ 冒頭、3月6日に亡くなった元箕島高校監督の尾藤公さんの冥福を祈って黙祷を捧げました。

・ 仁坂知事は「尾藤さんも天国から『和歌山球児よ、頑張れ』と応援してくれている。全力を出して頑張ってください。」と激励しました。

・ 中村主将は、「投打にバランスがあるチーム。県民の期待に応えられるように頑張りたい。」と試合に賭ける意気込みを話しました。

・ 大会は23日に開幕します。皆さん応援をよろしくお願いします。



●FOODEX JAPAN2011（第36回国際食品・飲料展）和歌山県ブースが出展！

・3月1日～4日、アジア・環太平洋地域最大の食品・飲料の国際展示商談会“FOODEX JAPAN 2011（第36回国際食品・飲料展）”が幕張メッセ（千葉県千葉市）で開催されました。

・和歌山県は4年連続自治体最大規模の出展となります。梅干、梅酒、梅加工品、果実加工品などを取り扱う県内24事業者と、和歌山県工業技術センターが共同出展しました。

・今回の県ブース（写真）では、和歌山城をイメージ。各事業者が商品を陳列する展示台も、和風のイメージで統一しました。天守閣に見立てた2階建ての商談コーナーでは、多くバイヤーとの商談が行われ、和歌山ブースは大いに賑わいました。



●和歌山県立医科大学付属病院と日本赤十字和歌山医療センターが、「高度救命救急センター」に同時指定！！

・4月1日、和歌山県立医科大学付属病院と日本赤十字和歌山医療センターが2カ所同時に「高度救命救急センター」に指定されました。

・全国で「高度救命救急センター」を複数設置しているのは、東京都（2カ所）、神奈川県（3カ所）、大阪府（2カ所）の3都府県のみで、和歌山県はそれに次いで4番目となります。

・今回の指定は、和歌山県の救急医療の地域課題を解消するために取り組んできた“県民の健康を守る安心医療の充実”の施策が国に評価されたものです。

・今回の指定で、医療設備などの補助金を受けることが可能となり、医療機能のさらなる充実が図られます。



今月、本館が竣工した「日赤和歌山医療センター」



「県立医科大学付属病院」

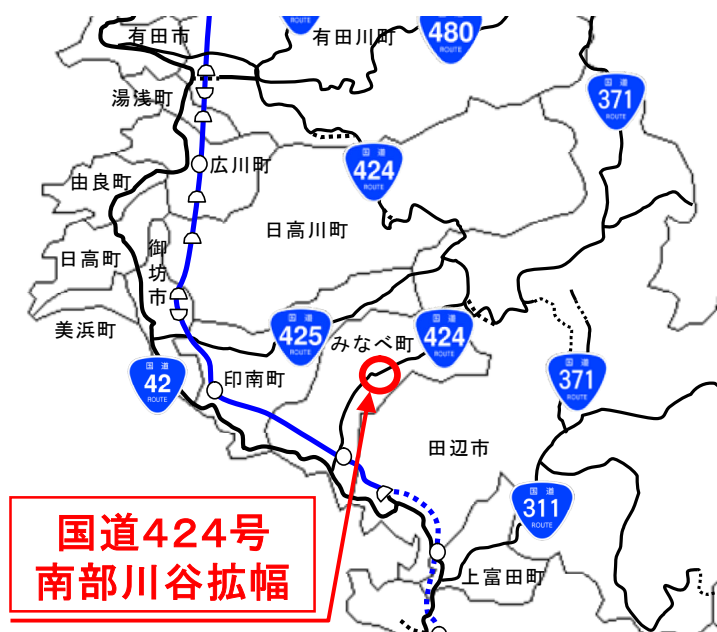
●国道424号バイパス開通！！

・3月6日、国道424号みなべ町東本庄から島之瀬間の約5.1kmが全線完成し、二階衆議院議員、世耕参議院議員、仁坂知事、小谷みなべ町長が出席し、開通式典（下写真）が行われました。

・仁坂知事は、「ようやく完成したことを本当にうれしく思う。道ができればいろんなチャンスが広がる。皆さんそれぞれが夢をふくらませてチャンスを活用していただきたい。我々も頑張りますので、みんなでこの和歌山県を元気にするために頑張りましょう。」と祝辞を述べました。

・当日は、地元の多くの方々が参加し、子ども御輿や餅まきを行い、盛大に開通を祝いました。

・新バイパスが出来たことにより、安全で快適な走行が可能となるとともに、地場産業の輸送の効率化や観光振興など地域の発展に貢献するものと期待されます。



「わかやま観光情報」サイト
 「わかやま^{まる}〇旅」に新ページ続々オープン！

第2弾は【お宝旅】 & 【鉄旅】



「わかやま観光情報」に、「わかやま〇（まる）旅」ページ「てくてく旅」「湯の旅」「花旅」「食旅」に続く、第2弾として、「お宝旅」と「鉄旅」をオープンしました！

ここ！
 「わかやま〇旅」

★★★ わかやま観光情報 <http://www.wakayama-kanko.or.jp/> ★★★

■内容は、次のとおりです！！是非ご覧下さい。

・お宝旅 — “ロコミ” モデルコースをご紹介します —

昨年4月からロコミ情報投稿ページ「わたしのわかやまお宝旅」をオープンし、投稿いただいた“ロコミ”情報をもとにモデルコースを作成しました。
 県内全域にわたって8つのコースを設定し、ロコミコメントや写真も掲載して見どころを紹介しています。（右）

- コース1 高野山と紀の川に沿ってぐるっと旅
- コース2 たま駅長に会いたい！和歌山電鉄と和歌山市の旅
- コース3 穴場スポット満載！有田ぐるっと旅
- コース4 碧い海と早春の香りを訪ねる 日高のんびり旅
- コース5 美人湯も熊野古道も！広い田辺市めぐり旅
- コース6 やっぱり白浜！白浜大満喫の旅
- コース7 南紀の海と自然を満喫する旅
- コース8 世界遺産とマグロと海と！南紀勝浦を満喫する旅

・鉄旅 — 鉄道の“乗る・見る・撮る”の楽しさ満載 —

鉄道ファンだけでなく、ファミリーや友達とも楽しんで頂ける「鉄道スポット」を5つのカテゴリーに分けて紹介。

鉄道好きな県職員から情報を募集し、写真も県職員が撮影。（一部提供写真あり）

今後も新たな「鉄道ネタ」を増やしていく予定です。

5つのカテゴリー（鉄道ファン等のカテゴリー）

- 「乗り鉄」：鉄道に乗る楽しみを紹介
- 「車両鉄」：車両の魅力を紹介
- 「駅鉄」：駅舎の魅力を紹介
- 「撮り鉄」：周辺の景観とともに車両を撮影する魅力を紹介
- 「ほか鉄」：その他の鉄道に関する話題を紹介



和歌山の旬のこだわり情報をお届けします

大人の柑橘・はっさく



上品な甘みがあり、ちょっと酸っぱくて、ほろ苦い。そんなバランス感が絶妙で魅力的な大人の柑橘「はっさく」。つぶつぶの果実感もたまりません。

和歌山県は、はっさくの生産量が日本一！
 (和歌山26,390t、広島7,051t、愛媛2,159t
 農林水産省：平成20年特産果樹生産出荷実績調査)
 主な産地は紀の川市、有田川町、由良町などです。
 漢字で「八朔」と書くのは、もともと八月朔日(旧
 の8月1日)に食べたからだそうです。

はっさく農家さんに突撃インタビュー

今年のはっさくは「大玉傾向でおいしさ抜群！」との声が届き、早速はっさく畑へGO！
 「んー、いい香り♪」たわわに実ったはっさく畑で爽やかな香りに包まれ、気分もリフレッシュ。はっさくは、普通・木成り・さつきの3つに大きく分けられます(裏面参照)。今回、3～4月頃まで木で熟成される木成りはっさくとさつきはっさくを栽培している由良町(JA グリーン日高)の桶田さんからお話を聞きました。

Q: 今、何をしていますところですか？

仕上げの摘果中やで。2Lや3Lのはっさくを作るために、Sぐらいのサイズのはっさくを落としてるんよ。はっさくが実りすぎると、大きいのはっさくができないし、木への負担にもなるからなあ。



Q: はっさく栽培の難しさは？

はっさくは小さすぎる(S・M)と価格が安く、大きすぎる(4L)と収穫前にほとんど落下してしまうんよ。それで、2Lが揃うよう^{てっか}剪定の仕方や肥料散布の時期・量など試行錯誤の日々やで。あと、ヒヨドリがよく味を知っちゃーるから、甘くておいしいはっさくを食べるんよ。だから、ヒヨドリが渡りをする2月にはまだ酸っぱさが残っていて、ヒヨドリが来なくなる3～4月に収穫できるように育てやなあかん。

Q: 木で熟成させるはっさくの魅力は？

糖度はだいたい2月にピークになるんやけど、木で熟成させているうちに、だんだん酸っぱさがなくなって、旨味も増してくるんよ。はっさくはズッシリと重たいので、落とさんよう両手で大切に収穫して、みなさまにお届けするんやで。



今回の取材を通じて、農家さんがはっさくに愛情を注ぎ、それにはっさくが応えるような関係が築き上げられていました。二人三脚で育った和歌山のおいしいはっさくを味わってください♪

はっさくリレー

はっさくの旬は1月上旬から5月上旬頃。美味しさリレーがスタートしました！その美味しさリレーを野球の投手リレーにたとえてご紹介します！！

○先発「普通はっさく」（1月上旬～）

はっさくは通常12月頃に収穫され、貯蔵して熟成させてから出荷されます。はっさく独特の爽やかな柑橘の味を楽しんで頂けます。

○中継ぎ「木成り（きなり）はっさく」（3月頃～）

知る人ぞ知る、木成りはっさく。温暖な黒潮寄せる和歌山県の沿岸部では降霜がほとんどないため、冬場でも木に実らせたまま熟成させることができます。3月頃の出荷ぎりぎりまで木に成ったまま熟させることによって甘さが増します。

○抑え「さつきはっさく」（4月頃～）

さらに遅い時期(4月頃)まで木で熟成させます。完熟でジューシー。ちょうど春先の4、5月頃が食べごろになるので、五月の冠をつけて「さつきはっさく」と呼ばれています。

はっさくが…缶詰になっちゃいました！



「はっさくが大好きなのに、あのごつい黄色の皮を剥くのが一苦勞で…いつも父親頼みなんです。」とお悩みの新人Tさん。悲しいかな、はっさくと親指との闘いに敗れてしまうらしいです。みなさんの中にもはっさくは好きだけど、皮をむくのが面倒とおっしゃる方も結構いらっしゃるのではないのでしょうか？

そんな方に朗報です！皮をむくことなしに、はっさくそのままの味と食感を楽しんで頂ける「手剥き八朔缶詰」がJA 紀の里から販売中。

ふるさと和歌山わいわい市場でお手軽にはっさくをどうぞ♪ <http://www.wakayamaken.jp/>



はっさくジュース空を飛ぶ

和歌山産はっさく 100 %ストレートジュース「はっさくしぼり」が空を飛んでいます！？ JA わかやまの「生姜丸しぼりジンジャーエール」に続き、新たにANA My Choice のメニューとして伊藤農園さんの「はっさくしぼり」が全日空国内線の機内で販売されています。ご搭乗の際は、ぜひ和歌山のはっさくしぼりを味わってください。



ふるさと歳時記（白浜町編②）

～ 自然が織りなす素晴らしさ 「円月島・千畳敷」
屈指の白砂海岸 「白良浜」
日置川の清流が育くんだ 「川添茶」 （白浜町） ～

円月島・千畳敷

・白浜のシンボル円月島。正式名は「高島」ですが、長い年月、波や風に浸食され、島のまん中に円月形の穴があいたことから、「円月島」と呼ばれるようになりました。昼間の円月島は、青く澄んだ海と白い岩肌が美しい。（遊覧船のグラスボート乗り場が近くにあるので、間近で見ることができます。）夕方の円月島も格別で、円月島に沈みゆく夕日は、「和歌山県の夕日100選」に選ばれています。（夏は6時30分頃、冬は4時30分頃） 広い岩畳のような「千畳敷」。白く柔らかい岩は、長い年月、打ち寄せる荒波に浸食され、壮大な景観になりました。



白良浜

・毎年5月3日に海開きをする白浜の白良浜海水浴場。本州で一番早い海開きです。

白浜の名の通り白いサラサラの砂は、90%の珪砂を含む石英砂。延長640mの遠浅の浜に、夏にはカラフルなパラソルが並びます。海開きをした後は、「砂まつり」（砂で作る体験型芸術コンクール）や、「オーシャンサーフチャレンジ」（ライフセーバーが日頃の訓練の成果を披露する）、「花火フェスティバル」、「花火大会」、「フラフェスティバル」（ワイキキビーチとの姉妹浜提携を記念して行われる）など、様々な催しが9月まで行われます。



川添茶

・おいしいお茶ができる条件とは？それは、「日照時間が短く、昼夜の気温差が大きい」こと。そんな地域が、白浜町の市鹿野（川添地域）。

日置川上流の山あいの小さな集落、川添地域は、県内でも数少ない緑茶産地の一つです。川添茶の歴史は、江戸時代初期の1,600年頃から。お茶栽培、手もみ製茶は大正末期以降人口減少などで縮小されましたが、昭和30年から再び本格的に始められました。加工には添加物を何も使わず、しっかりとした「旨味」「おいしさ」があるのが、川添茶の魅力。手もみ製茶技術師範の資格を持つ生産者を中心に「川添緑茶研究会」も構成。さらにおいしいお茶づくりの技術を追求しています。

白浜町ホームページ <http://www.town.shirahama.wakayama.jp/>

～編集後記～

この度の「東日本大震災」で犠牲になられた方々に謹んでお悔やみ申し上げます。また、想像を絶する地震や津波により、皆様の日常生活は、大きな支障をきたしていることと思います。被災された皆様方に心よりお見舞い申し上げます。

逃げる間もなく襲ってきた巨大な津波が、まさに壊滅的な被害をもたらし、多くの人命と家屋をのみ込みました。

和歌山県でも、大津波警報が全域に発令されました。県では災害対策本部を速やかに立ち上げ、仁坂知事を先頭に全職員が万全の体制で対応しました。

幸い人的被害はありませんでしたが、近い将来発生が予想される「東南海・南海地震」を考えると、我々の地震・津波に対する意識レベルを、これまで以上に引き上げる必要があるとともに、防災対策の全面的再点検に取り組んでいかななくてはならないことを痛感しました。

2月定例県議会が終了し、「未来を拓く希望の政策」と「命とくらしの現在を守る安心の政策」の2つを大きな柱とする平成23年度予算が成立いたしました。

「命とくらしの現在を守る安心の政策」は、百万県民が日々の暮らしを安心して送るための予算です。今回の「東日本大震災」を念頭において、県民が心に安らぎを覚え、幸せを感じることが出来るよう、ひるむことなく着実に防災対策を進めていくことが大切であると思います。

一人でも多くの方が救われ、一刻も早く被災地の方々の復興が図られ、心のやすらぎを手にされますことをお祈りいたします。

4月1日から新しい年度が始まります。新たな気持ちで、紙面作りに頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

知事室秘書課長 藤川 崇

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんで頂けますので是非ご覧下さい。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせ下さい。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供下さい。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

(下記のFAX(様式自由)、E-Mail等をお願いします。)

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>

*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2011年(平成23年)3月 NO.36

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2022